



山名(族)会報

全国山名氏一族会
〒667-1131 兵庫県美方郡香
美町村岡区村岡2365 法雲寺内
電話 0796-198-1115
FAX 0796-198-1116

常任理事会を開催

去る4月23日、春陽が穏やかに照らし、八重桜が満開を迎えた六孫王神社の会館において、常任理事会を催し懸案であった新役員体制等について協議いたしました。今回は常任理事会の概要をご報告いたしたいと思います。

山名会役員新体制発足

平成28年11月の第23回山名会総会において、役員・組織の見直しを行い理事長制に組織を改めましたが、総会当日は時間の関係もあり、具体的な役員人事については、常任理事会に持ち越して、その中で協議する事となっております。

4月23日の常任理事会には、常任理事9名中7名の方にご参会願ひ、人事案について知恵を絞って貰いました。

各常任理事様共に、平成24年に山名会が再興されてから6年目を迎え、山名会の活動についても一定の流れが出来つつある



八重桜が見頃の六孫王神社境内

この時期が山名会の今後にとっても重要な時であるとの共通の

認識をお持ちで、その認識に立った上での新役員体制人事となりました。

新役員体制につきましては、左記のごとくです。

理事長：山名靖英氏(京都)
副理事長：山名大介氏(愛知)
草山 宏氏(神奈川)

尚、常任理事に就任していただいていた居りました山名年浩前会長と宮田靖國前副会長につきましては、相談役に就いていただきまして、今までの会運営のご経験や山名氏研究に関する深い知識を活かしてご協力願うこと



当日ご出席戴いた常任理事の面々



理事会場にお借りした六孫王会館

となりました。山名年浩氏・宮田靖國氏には今後もどうかよろしくお願い致します。

上記の理事長・副理事長の三方に山名会を代表していただく訳ですが、常任理事会の基本的な考え方としては、理事長・副理事長に会の運営に関する全てを押し付けるのではなく、相談役も含めた常任理事会全体で協力して山名会運営に取り組んで行こうと言う考えで居ります。即断即決の会運営に比べて、

方向性決定までに若干の時間がかかるとは思いますが、この点ご理解いただけますようお願い致します。

第23回山名会総会決算等

第23回山名会総会の仮決算につきましては、前号の一族会報

でお伝えしましたが、ようやく華頂ホールの会場使用料請求が上がってきましたので、決算のご報告ができます。

その華頂ホールの使用料金ですが、半日間、照明や空調を使用し、その他の視聴覚機器も遠慮無く活用したので6万円程度

は覚悟していたのですが、請求額はなんと5千円という思いもよらない低額の請求額に驚かされました。

これも山名年浩前会長のご縁による京都市内私立大学長同士のご配慮で、この使用料となつたものと理解致しております。

従いまして、今総会の会計規模ですが1月時点でお伝えしていた379,580円から、324,580円へと55,000円会計が縮小致します。

尚、今総会行事の歴史講演を含む総参加者数ですが、全体で80名と一昨年の120名に比べると大分、人数を下回っています。山名会会員に限って見た場合では前回が25名、今回が20名とこちらも目減りしています。

今後、多くの会員さんが興味を持って参加していただけるように行事内容も工夫を凝らしていく必要を感じます。

その他、行事案内のポスターやチラシの後援に自治体や公共団体の名前が入った方が、信用を得やすいとのご意見もありました。今後の参考にしたいと思います。

最後になりますが、今回の総会に際しまして、参加者各位から89,000円の御協賛金を賜りました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

山名 第7号

昨年は諸般の事情により発行できませんでした。山名会誌「山名」第7号ですが、本年度は発行に向けての準備を進めています。

「山名」第7号では平成27年11月に池坊短大で行いました歴史講演会での松本公一先生と山本義典代表の講演ビデオから講演内容を文字起こしした講演録に、講演後に行われた歴史討論会の内容も付け加えて主要記事として編集を行います。文書化しました原稿は、既に両先生にお目通し願ひ一応「OK」をいただいで居ります。

また、何人かの方から既に掲載原稿も預かっていますので、ページ数と相談した上で、なるべく多くの方々の原稿を掲載したいと思っております。

平成29年の山名会総会

歴史書のベストセラーと言うものは余り聞いた事が無いのですが、中公新書から発売されている『応仁の乱』は希に見るヒッ



ト作らしく、どこかの書店でも新書コーナーの「売上ベスト1」2位」と良く掲示されています。平成29年の山名会総会を計画するのの際しまして、この『応仁の乱』の著者である呉座勇一先生に山名会総会での講演をお願いできないだろうかとの提案が上がり、現在、呉座先生との間で交渉中です。

日程等上手く調整がつくようでしたら11月下旬〜12月初旬の頃に歴史講演会を含んだ山名会総会のご案内が出来るとかと思ひます。

詳しくは5月中旬に行われる呉座先生との打合せによるのですが、今後の進展にご期待ください。

年会費納入のお願い

通常ならば山名会総会終了後、直ぐにでも年会費納入のご案内を送りますが、今回は会の中心である理事長が決定してない状態であった為、会費納入のご案内を出すことをためらって居りました。

この度の常任理事会で山名靖英理事長を中心とした役員体制が形作られましたので、年会費

編集後記

昨年11月の総会から5ヶ月が経つてようやく理事長始め新役員体制が確立しスタート致しました。

山名会も活動再開から6年目に入ります。山名会だけに限った事ではありませんが、年に1才だけ皆が平等に歳をとり、会の平均年齢も確実に歳を重ねて行きます。

会として活力を維持するには、新たな会員を取りこむ努力を怠らないこと。魅力ある活動を展開すること等を常に心掛けて行かねば成らないでしょう。

納入につきましてもお願ひ申し上げたいと思ひます。

年会費につきましては例年通り、一家5千円をお願ひします。納付につきましては、同封の郵便振替用紙をご利用下さい。お手数を掛けますが、7月末日までの納入をお願ひ致します。(尚、既に会費納入済みの方につきましては、郵便振替用紙を入れておりません。)

幸いと言うのか、「応仁の乱から550年」とか？

偶然なのかも知れませんが、事務局にも最近、山名関係のことで問合せを受ける機会が増えてきているように感じています。

どことなく山名氏と言うことにも世間の関心が集まる巡り合わせとなっているのかも知れませんが。

そんな意味では、この2年ほど一般聴講者も交えて行ってきた山名会歴史講演会の活動が効を奏し、山名会の存在が世間に知られつつあるのかも知れませんが。

山名氏と細川氏の対談

京都市上京区が主催する「応仁の乱550年」事業として、西陣に対する東陣に焦点をあてたイベントが計画されています。

その関連イベントの中に5月21日に上京区総合庁舎で「山名氏・細川氏の対談」が計画されており、山名氏の代表として山名靖英理事長が御登壇なされます。

細川方は当初、細川護熙夫人の出席を予定されていたのですが、健康面の事情から熊本県の文化協会の方に代わられたようですが、今までなかなか実現できなかった西陣・東陣の対談ですので、大変に有意義なことかと思

います。

この対談について山名靖英理事長は「対談の場を通じて山名会の存在をアピールして、一人でも多く山名会に関心を持って貰えるように励みたい」との事でした。

尚、この対談会場の入場には事前の申し込みが必要です。詳しいことは下記まで。

平成29年4月25日（火曜）から5月10日（水曜）まで、「京都いつでもコール」（電話：075-661-3755・FAX：075-661-5855）にて受け付けます。①イベント名、②氏名（ふりがな）、③電話番号、④郵便番号・住所をお伝えください。

おうにんのらん

応仁の乱

いまかがや ひがしじん たず

今輝け東陣を訪ねて

1467年に応仁の乱が勃発して550年の節目を迎える今年。
 応仁の乱の戦で荒廃した上京が復興してきた過程を紐解き、今の上京の都市の成り立ちや町並み、人々のくらしや営みなどについて再認識し、次代へ継承していくため「東陣ゆかりの地」説明板の除幕式をはじめとした様々なイベントを開催します。

日程 平成29年**5月21日(日)** **場所** 上京区内

「東陣ゆかりの地」説明板の除幕式

同時開催
展示・上映
 国宝上杉本洛中洛外図屏風の複製パネルの展示
 室町時代衣装展（復元衣装の展示）
 「新春特別歴史シンポジウム第2弾『洛中洛外図屏風に見る乱後の東陣』」記録映像の上映会

特別対談
「応仁の乱 550年目を迎えて」

<p>西陣</p> <p>全国山名氏一族会 理事長 やまな 靖英氏</p>	<p>×</p>	<p>東陣</p> <p>熊本県文化協会 会長 (公財)永青文庫 常務理事 よしまる りょうじ 吉丸 良治氏</p>
<p>コーディネーター 井上 満郎氏 京都市歴史資料館 館長</p>		

各イベントの詳細は裏面をご覧ください。

主催 / 東陣プロジェクト実行委員会 上京区役所 京都市考古資料館 (公社)京都染織文化協会